

事務事業評価シート

(平成 25 年度実施事業)

事務事業名	I T活用推進事業			事業コード	0067
所属コード	012100	課等名	総務部 情報企画室	係名	
課長名	佐藤 明彦	担当者名	畠山 恭子	内線番号	2664
評価分類	<input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 公の施設 <input type="checkbox"/> 大規模公共事業 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 内部管理				

1 事務事業の基本情報

(1) 概要

総合計画 体系	施策の柱	心がつながる相互理解	コード	3
	施策	快適な情報ネットワークの実現	コード	4
	基本事業	情報通信機能の整備	コード	1
予算費目名	一般会計 02 款 01 項 01 目 I T活用推進事業 (012-05)			
特記事項	総合計画主要事業			
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰越 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度	開始年度	平成 14 年度	
根拠法令等				

(2) 事務事業の概要

もりおか地域 SNS を運営し、市民がインターネット上で気軽に意見交換・情報交換できる環境を提供する。また、市民（特に IT に触れる機会の少ない市民）がインターネットを体験し、市ホームページから市政情報を閲覧できるようにするため、公共施設にインターネット端末を設置する。

(3) この事務事業を開始したきっかけ（いつ頃どんな経緯で開始されたのか）

パソコン、インターネットの一般家庭への普及率が低く、インターネットを利用したいという市民からの要望があった。また、デジタルディバイド（情報格差）を少しでも解消する必要があった。

(4) 事務事業を取り巻く現在の状況はどうか。(3)からどう変化したか。

もりおか地域 SNS は、Facebook や Twitter など他 SNS の普及に伴い、利用者数の伸び悩み、常時利用者の固定化がみられる。

公共施設へのインターネット端末設置事業は、パソコン及びブロードバンド環境の一般家庭への普及率が高まったことから、ピーク時と比較して利用者数が大きく減少した。「インターネットを体験させ、デジタルディバイド（情報格差）の解消を図る」という当初の目的は達成されたと考えられる。

2 事務事業の実施状況 (Do)

(1) 対象（誰が、何が対象か）

市民。但し、もりおか地域 SNS では、対象年齢を 18 歳以上とし、市外在住の方も対象として

いる。

(2) 対象指標（対象の大きさを示す指標）

指標項目	単位	23年度 実績	24年度 実績	25年度 計画	25年度 実績	26年度 見込み
A 市民の数	人	298,853	299,220	300,000	299,585	
B						
C						

(3) 25年度に実施した主な活動・手順

もりおか地域 SNS 及びインターネット端末の運用管理を行った。

(4) 活動指標（事務事業の活動量を示す指標）

指標項目	単位	23年度 実績	24年度 実績	25年度 計画	25年度 実績	26年度 目標値
A インターネット端末の利用者数	人	3,539	3,723	5,000	3,477	
B もりおか地域 SNS の会員数	人	1,270	1,303	1,500	1,318	
C もりおか地域 SNS のコミュニティ数	団体	253	263	320	268	

(5) 意図（対象をどのように変えるのか）

市民が、インターネット上で気軽に意見交換・情報交換することができる。また、市民（特に IT に触れる機会の少ない市民）が、インターネットを体験することができる。

(6) 成果指標（意図の達成度を示す指標）

指標項目	性格	単位	23年度 実績	24年度 実績	25年度 計画	25年度 実績	26年度 目標値
A インターネットを利用している人の割合（市民意識調査を基にした推定値）	<input checked="" type="checkbox"/> 上げる <input type="checkbox"/> 下げる <input type="checkbox"/> 維持	%	61.6	69.2	69.2	69.2	
B もりおか地域 SNS のアクセス数	<input checked="" type="checkbox"/> 上げる <input type="checkbox"/> 下げる <input type="checkbox"/> 維持	回	20, 289,000	17, 076,624	18, 000,000	7,897,117	
C	<input type="checkbox"/> 上げる <input type="checkbox"/> 下げる <input type="checkbox"/> 維持						

(7) 事業費

項目	財源内訳	単位	23年度実績	24年度実績	25年度計画	25年度実績
事業費	①国	千円	0	0	0	0
	②県	千円	0	0	0	0
	③地方債	千円	0	0	0	0
	④一般財源	千円	2,043	2,041	2,195	2,020

	⑤その他()	千円	0	0	0	0
	A 小計 ①～⑤	千円	2,043	2,041	2,195	2,020
人件費	⑥延べ業務時間数	時間	1,200	1,200	1,200	1,200
	B 職員人件費 ⑥×4,000円	千円	4,800	4,800	4,800	4,800
計	トータルコスト A+B	千円	6,843	6,841	6,995	6,820
備考						

3 事務事業の評価 (See)

(1) 必要性評価 (評価分類が「内部管理」の事務事業は記入不要)

① 施策体系との整合性

インターネット上で気軽に意見交換・情報交換できる環境を提供することなどにより、結果に繋げることが可能である。

② 市の関与の妥当性

国の「e-Japan 戦略」を背景にした盛岡市の「情報化基本計画」のアクションプラン (行動計画) の一つであることから市が行うべき事業である。

③ 対象の妥当性

もりおか地域 SNS では対象年齢を 18 歳以上としているが、責任能力の観点から適切である。

④ 廃止・休止の影響

もりおか地域 SNS の廃止は、ネットワーク特性を活かした地域活性化を阻害することになる。

(2) 有効性評価 (成果の向上余地)

もりおか地域 SNS を周知し利用促進を図ることで、成果が向上する可能性がある。

(3) 公平性評価 (評価分類が「内部管理」の事務事業は記入不要)

① 受益機会の適正化余地

もりおか地域 SNS では対象年齢を 18 歳以上としているが、責任能力の観点から適切である。

② 受益者の費用負担の適正化余地

情報通信の普及啓蒙を目的とした市民サービスであることから、受益者負担は考えられない。

(4) 効率性評価

① 事業費の削減余地

ランニングコスト (必要経費) のみで運用しているため削減の余地はない。

② 事業費の削減余地

もりおか地域 SNS の運営を NPO 団体等外部に委託することができれば、人件費の削減が可能となる。

4 事務事業の改革案 (Plan)

(1) 改革改善の方向性

もりおか地域 SNS を稼働しているサーバーの保守期限は、平成 27 年 1 月となっているため、事業継続には機器更新が必要となる。事業開始当初に比べ、他 SNS の普及が進んでおり、「市民がインターネット上で気軽に意見交換・情報交換できる環境」はもりおか地域 SNS 以外でも一般的なものとなっていると考えられるため、事業の見直しまたは終了を検討する。

(2) 改革改善に向けて想定される問題点及びその克服方法

もりおか地域 SNS の廃止は、ネットワーク特性を活かした地域活性化を阻害することになる。また、現在の利用者に対し交流環境の喪失という不利益を与えるため、ボランティアスタッフ及び利用者には十分な説明と告知を行い、理解を得る必要がある。

5 課長意見

(1) 今後の方向性

- 現状維持（従来どおりで特に改革改善をしない）
- 改革改善を行う（事業の統廃合・連携を含む）
- 終了・廃止・休止

(2) 全体総括・今後の改革改善の内容

① 全体総括

公共施設等へ設置したデジタルデバイド解消のためのインターネット端末については、PC 等の普及が向上したこと、利用者が減少傾向にあることなど、所期の目的が達せられたものと判断し、平成 25 年度をもって終了した。

もりおか地域 SNS については、恒常的に利用されているものの、新規登録者数はほぼ横ばい状態である。自治体が直接運営しているケースも限定的であることから、今後の運営のあり方を検討していく必要がある。

② 今後の改革改善の内容

地域コミュニティの今後のあり方について、有識者とともに検討し、盛岡市以外での運営の可能性を早期に検討するとともに、民間等の SNS への利用可能性についても検討する。